

2018年3月16日更新

大学院日本語教育研究科
〈2018年度新規〉海外実践プログラム(1セメスター海外派遣)のご案内(予告)

日研では、在学生の日本語教育実践の場として、海外協定校における「海外実践プログラム」を2018年度より新たに設置する予定です。以下に概要を記載しますので、それぞれ今後の履修計画を立てる際のご参考にしてください。募集要項は追って発表します。

1. 日研海外実践プログラムとは

日研生が海外で日本語教育の現場に携わる機会です。海外の学生との相互交流を図ることで「多様な日本語学習に対応できる教育者」と「実践的な日本語運用能力を持つ人材」の養成にとどまらず、様々な分野で活躍し、日本と海外の懸け橋となる人材の養成を目指します。

2. 対象： 修士課程在籍日研生（博士後期課程在籍者は空枠があれば派遣可）

3. 要件： (1)派遣時まで「日本語教育学実践研究（16）」を履修し、合格していること
(2)派遣期間中、派遣先での日本語教育実践活動に専念できること。

4. 派遣人数： 最大5名（原則として1大学1名）

5. 派遣期間： 2018年8または9月～11または12月（約4か月）
（注）派遣先大学により若干異なります。

6. 派遣先候補：

2018年3月時点

	国/地域・都市名	大学名
1	タイ・バンコク	タマサート大学
2	タイ・コンケン	コンケン大学
3	ベトナム・ハノイ	日越大学
4	ドイツ・ミュンヘン	ミュンヘン大学
5	セルビア・ベオグラード	ベオグラード大学
6	ハンガリー・ブダペスト	カーロリ大学

7. 学費：早稲田大学に学費等を納める。派遣先大学で科目を履修し、その費用が発生する場合は原則として自己負担。

8. 奨学金：尚友倶楽部より支給（最大4か月分の滞在費補助、渡航費補助、渡航準備金）
（金額は派遣先による）
9. 自己負担費用：ビザ申請費・生活費・住居費・派遣先大学の授業料等（発生する場合）・
海外旅行保険（本学指定・本学学生保険料4か月間で約4.7万円）
10. 単位認定：「日本語教育学実践研究（17）」に登録し、所定の活動を行うことにより単
位を認定。論文指導・研究指導は日研教員がメール・Skype等に対応
（修士2年間で修了可）
11. 実践内容：授業見学・教壇実習・教室内教務支援TA・教材作成支援等の教育実践等
（実践内容は派遣先大学による）
12. 募集・選考：2018年4月以降（予定）

13. 派遣期間中の科目履修・指導体制

「日本語教育学演習 II、III、IV」	帰国直後の学期に未履修の演習と併せて2つの演習の登録・履修可
「日本語教育学実践研究」	「日本語教育学実践研究（17）」に登録し、所定の活動を行うことにより履修可
「日本語教育学研究指導（研究論文指導）」	日研の指導教員がメール・Skype等により指導をおこなう。

14. プログラム概要説明会

2018年3月23日（金）13:00～14:00

場所：19号館508教室

※参加事前登録不要、個別質問にも可能な限りお答えします。

※本説明会では、海外実践派遣プログラムの他、修了後にも応募が可能な海外インターン等の日研推薦派遣についてもご説明します。

注)本募集はあくまで予告であり、内容に変更が生じる可能性があります。